

CMC6期 調査・分析報告レポート

調査概要

●本調査は、『CMCでの4ヶ月間でどのような「価値観」と「行動」の変化が、「なぜ」起こるのかを調査する』という目的で実施した。

●CMC6期参加者5名に向けて、

(1)入学前・卒業後アンケートの実施

(2)月1回の振り返り会でのアンケートの実施（5月・6月・7月で計3回）

(3)Well-being Circleアンケートの実施（4・5・8月の実施）

(4)卒業後インタビューの実施

(5)「note」や「Facebook」などでの発信記録の収集

*ただし各アンケート毎に、回答回数には個人によりばらつきあり

●(1)に関しては、以下の項目で調査を実施した。

1. CMCに参加した動機は？期待していることは？

2. 自分らしく豊かに生きるとは？・サステナブルという言葉について・カレッジとはどういう場所だと思うか？
地域に住むとはどのような印象があるか？の自由記述

3. 社会問題、環境に関する意識、行動の度合い

4. マインドセットに関する問い（社会的信頼、ゼロサム思考、成長思考、自己効力感、人間関係）

5. 人間関係に必要な資質に関する問い（レジリエンス、多様性受容）

6. 心の状態に関する問い（抑うつ、孤独感、自己肯定感）

（4~6に関しては、コミュニティキャピタル研究所さんと共同研究）

●(2)に関しては、以下の項目で調査を実施した。

1. 1ヶ月で嬉しかったこと・心が動いたこと・悲しかったこと

2. 自分にとっての他者の存在・1ヶ月の中で自分に一番影響を与えた人

3. 広田の環境が自分に与える影響（自由記述）

4. 自分らしく豊かに生きるとは？・サステナブルという言葉について・カレッジとはどういう場所だと思うか？（自由記述）

●分析手法

ライフストーリー分析を行った。データを事実と解釈に分類し、その上で「どのような意味を持つのか？」の意味化を行った。
意味化した内容について、スライドでまとめた。

分析の様子



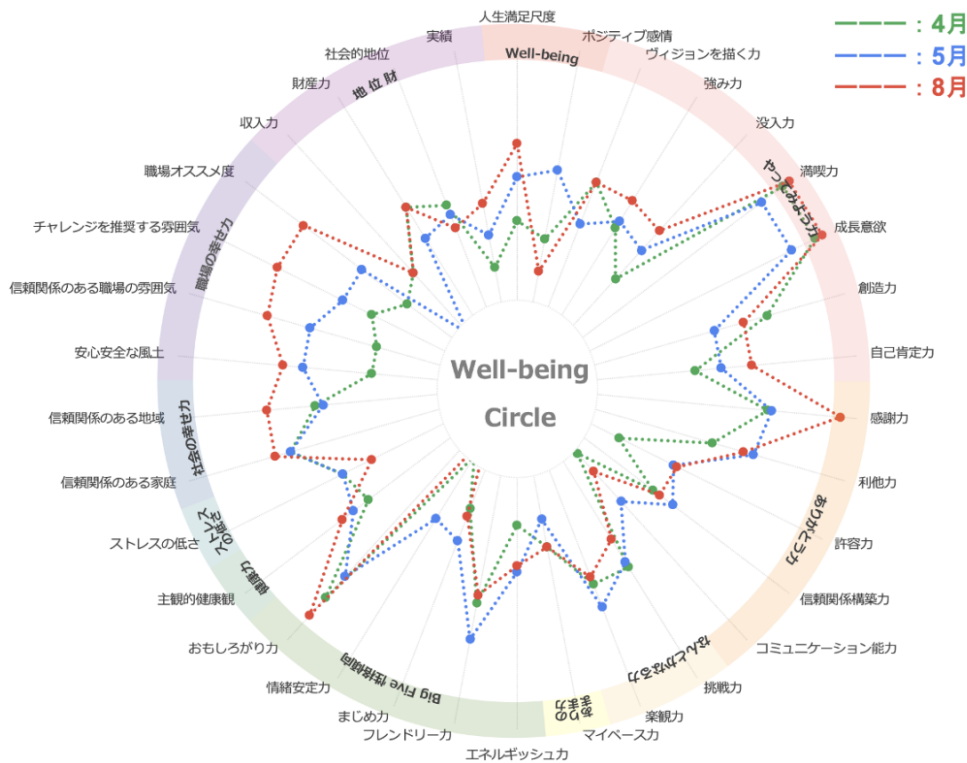
事実1	事実2	解釈	意味化①
アンケート	自己肯定感は全体的に向上（自分はダメな人間だとは思わない、私は全体的に満足している、自分のことが好きになれる） （一方で、大抵の人がやれる程度には物事ができるは低下） （well-beingサークルでも大幅に向上）	来た当初は、すごい人になって自分に自信を持って社会に貢献するという人になりたい。けどなれない自分はダメなんじゃないかという思いでしたが、4ヶ月経って「自分はそういう生き方はできない。できない中での生き方で、いい感じの生き方を探す」と決めたことで自分を認めてあげられたのではないかと解釈できる。すごい人になりたいという思いは薄れ、人間力を磨きたいという欲求が生まれている。	自分らしい生き方への気づきと脱落ち →「死ねないのじゃあなしに生きる」
well-beingサークル	ありのまま力は向上		
well-beingサークル	人生満足度は向上	人生に満足をしているわけじゃないけども「生きる」ことに対しての向き合い方を見出したのだろう。彼女の言葉では「真に自由に生きる」に近づけたとしている。	
アンケート	努力によって、元々備わっている賢さは大幅には向上させられない	等身大の自分の生き方を見つけた。 noteより 「私はきっと、私らしくしか生きられない。それは、心強い諦めだ。」	
アンケート	「自分らしく豊かに生きること」についての印象、入学前：“自分らしく”と言いながらも、世間一般の綺麗な“豊かさ”の基準を 声の大きい人たちが押し付けてきているような印象がある。 卒業後：そうとしか生きられない。		
well-beingサークル	ポジティブ感情や没入力は低い状態で安定	「自分がポジティブである必要性」を手放した。 「生きたいと思って生きる」というよりは、「どうせ死ねないから、まあしゃあないし生きるか〜。生きるなら苦しくない生き方をしたいなあ」というスタンスであると認識した。	
well-beingサークル	なんとなくかなる力は低下	挑戦する！素観察する！ということについては確かに低下したことはインタビューからの伺えるが、良い意味で遠観（こういう生き方とか考え方しかできない）はして、その中で努力を積み重ねる方向性に向かっているように感じる。	
		シェアハウスでの暮らしで、「分り合えないこと	

サマリー



- CMCの環境設定として、シェアハウスで暮らすこと、余白が多いことから、「自分と他者と向き合わざるを得ない環境」が用意されていることのさまざまな学びを引きこおこす土台になっている。
- 他者とのコミュニケーションから他者理解を通して、自己理解が深まり、「自分らしい生き方」への気づきが生まれている。背伸びすることなく、自分の等身大での生き方を見つけている。
- 4ヶ月過ごすことで、「常に繋がっている」という感覚を得ている。（孤独感は向上している参加者がいるが、これは他者と自分の違いの理解のプロセスとも捉えられる）
- 人生満足度（中長期的な幸せの尺度）は総じて向上していることから幸せになるプログラムであると言える（well-being circle提供会社からのコメント）
- 運営者側の調査を行うことでより立体的に把握できる可能性がある。

参考) 5人のwell-beingの平均



- 職場、社会の幸せ力に関しては全体的に向上している。
- そもそも情緒不安定、面白がり力や満喫力、成長意欲が高い人が参加している。
- コミュニケーション能力に飛躍的な伸びがあるが、最後悩んで終わっているのか数値が下がっている。
- なんか有り難かつてる。
- ポジティブ感情は削がれているが、人生満足度は向上している。

Aさん：well-beingサークル

■well-beingサークルの主な結果

- ・感謝力は、一度低下、最終的に向上した。
- ・人生満足度尺度は、一度低下し、元の値に戻った。
- ・ポジティブ感情の振れ幅が大きい。
- ・満喫力・成長意欲が元々高くて、5月に低下、8月では4月と同水準。
- ・信頼関係構築力・コミュニケーションは段階的に低下した。
- ・情緒不安定力は段階的に低下した。
- ・職場の幸せ力、社会の幸せ力、ストレスの低さ、は、最初高かったが、その後低下した。

■研究部アンケートの主な結果

- ・レジリエンスの向上
- ・成長思考の向上
- ・自己肯定感の低下
- ・多様性受容の低下
- ・抑うつ傾向の向上（悪化？）
- ・孤独感の向上
- ・社会的信頼、ゼロサム思考、希望に関する考え、人間関係観、健康状態はほぼ変化せず

Aさん：CMCの意味

CMCで得た
学び・気づき・価値

自分自身について

自分がCMCに参加した意義の発見

職場・社会などで自分の周り
にあるもの≡他者、の存在の
捉え方の変化

環境を変えることでの変化ではなく、
自身に向き合い、自身を変化
させることでの変化への期待（確
信？）

他者とのこと

本質的な他者への想いの表面化
(本当は繋がっていたい。一生の友
達が欲しかった。)

人と共に生きる中での、
・自己理解・他者理解
・自己への他者の影響・他者への
自己の影響
・他者とのコミュニケーション
(調整)
という学び

その他

豊かさの認識
⇨他者との関係性の中での豊かさ
⇨日常に小さくある豊かさ

CMCの環境は理想かもしれない
が、現実には起こり得ないと
感じる

社会や地域への想いの表面化
(自身の話が多い中で、地域や、社
会に対しての理想を語っている)

CMCの環境セット

自身の幸福度の「揺らぎ」を大いに感じる
(ある種情緒不安定のにも通ずるのかもしれない)

自分自身と、自身が深めたい問いとに向き合える環境

もともとのマインドセット

新たな場所で何か変わるかもしれない、という期
待へ向けての行動（エジプトの例とか）

本質的な他者への想いを、実現できない自分自身
の能力への認識

Aさん：CMCのストーリー



(事前)

- ・本当は人と繋がっていたいけど、自分には人と繋がるコミュニケーション力もない。
- ・その中で、そういう本質は、根本からは変わらないと思っている。
- ・だけど何かを変えたいから、変わるかもしれないと思える場所に飛び込むことへ期待している。今回は、CMCという場所を選んでみた。



(事中①)

- ・楽しそうと思って飛び込んでみたけど、他者との共同生活は自分をイライラさせる。・何もしないままに1ヶ月が過ぎている。
- ・広田という環境は自然は美しいが、逃げる場所がないようにも感じる。
- ・自分のことを知りたいのだろうが、家族の話聞いてくるメンバーもいる。話したくないわけではないが、なんの目的があって聞いてくるのか。聞いた本人が私の話を聞いて病んでいる。それでも聞いてくる。

(事中②)

- ・活動もするようになってきて、広田を活かしている気がしている。・広田のものを活かして、加工するのは好き。豊かさを感じる。
- ・ここに来た痕跡を残せるかもしれない。自分が存在した意義を創れるかもしれない。・毎日の暮らしの中に小さく幸せがあるのがいいな。
- ・もっと豊かに他者とえられるようになりたい。
- ・将来の自分が、自分の理想を叶えられるための経験を今、積んでいる気がする。

(事中③)

- ・広田の自然が好きとを感じるが、ここから出られないことへのストレスも相変わらず感じる。
- ・自分の豊かさもまたわからなくなってきた。
- ・でも、本誌的には変わらないけど、ナチュラルに他者とか環境に順応できるようになりたい。



(事後)

- ・振り返ってみると、自分は全然人の話を聞いていなかった。
- ・自分と違う境遇の人を理解することができていなかった。(今もかもしれないけど)
- ・他者への自己の影響も、自己の他者の影響も少しだけ、わかった気がする。
- ・人は根本的に変わらないかもしれないけど、自分の努力でも少しは変われるのかもしれない。
- ・CMCはなんだか寄り道のような、まぼろしのようなものだったな。

Bさんwell-beingサークル

■well-beingサークルの主な結果

- ・職場の幸せ力、社会の幸せ力、ストレスの低さは向上
- ・面白がり力の大幅な向上
- ・許容力の段階的な向上
- ・感謝力の段階的な向上
- ・満喫力・成長意欲が元々高くて、低下し、その後元の水準となった。
- ・信頼関係構築力・コミュニケーションはもともと低く、若干向上
- ・人生満足度尺度は、一度低下し、8月時点では向上
- ・情緒不安定力は基本的に低く、更に低下

■研究部アンケートの主な結果

- ・地域移住意欲の大幅な向上
- ・自己肯定感の全体的な向上
- ・多様性受容の全体的な向上
- ・社会的信頼の向上
- ・人間関係観の向上
- ・孤独感の若干の低下
- ・健康状態の向上
- ・抑うつ傾向の向上（悪化？）
- ・レジリエンス、ゼロサム思考、成長思考はほぼ変化なし

Bさん：CMCの意味

CMCで得た
学び・気づき・価値

自分自身について

自分で自分を愛したり、許せる幅の上昇
⚡できたが積み重なって許せたり、信じられる

本質的な想いの表面化
(望んじゃダメだと思っていたけど、本当は人と一緒に居たい)

他者とのこと

本質的に望んでいた人間関係（豊かさにも近い）の獲得

その他

CMCを終えての満足感・達成感
(フォルケの3ヶ月では得られなかった。)

自分の健康状態の改善

緊張や不安を持たずに安心していただける居場所の獲得

CMCの環境セット

フォルケとはまた違った、
家族のようなコミュニティ

他者が近いからこそ、
自分にも他者にも向き合える

もともとのマインドセット

今まで克服したいけどできなかった人間関係における怖さ

せつかく来たから頑張ろうという気持ち
(仕事も辞めてCMCに来た)

Bさん：CMCのストーリー



(事前)

- ・克服したいけど、できなかった人間関係における怖さがあった。
- ・今までそれで何度も人間関係から逃げてきた。
- ・自分が人と居たいなんて望んじゃいけない気がした。
- ・でもやっぱり変えたくて、CMCに飛び込んでみた。



(事中)

- ・せっかくきたからこそ頑張っていこうという気持ちがあった。
- ・フォルケとはまた違った家族のようなコミュニティ、プログラムと出会った。
- ・他者が近いからこそ、自分にも他者にも向き合えるCMCの環境は、隠し事がしやうが無かった。
- ・その中で、周りに自分のことを話してみたら、受け止めてくれるみんながいた。
- ・卒業式直前、またしても人間関係の怖さが出てきた。しんどかった。
- ・でも、話を聞いてくれる周りのみんながいた。
- ・少しだけ、頑張れない自分も許すことも許せた気がした。



(事後)

- ・CMCは現実じゃ無かったように感じる。
- ・広田にはこれから住もうと思っている。
- ・そう思うくらいの安心感が、広田にもSETにもあると思った。
- ・自分で自分を愛するって、どうしたらいいのかわからなかったけど、少しずつできた経験が積み重なって、少し自分で自分を優しくするやり方がわかった。
- ・本当は人と居たいんだなって気づけた。
- ・総じて少し、健康に豊かになった気がする。

Cさん：well-beingサークル

■well-beingサークルの主な結果

- ・人生満足度尺度の大幅な向上
- ・職場の幸せ力・社会の幸せ力の大幅な向上
- ・許容力の向上
- ・面白がり力の向上
- ・感謝力の向上
- ・満喫力・成長意欲は元の大幅な揺らぎ
- ・創造力・ヴィジョンを描く力の低下
- ・情緒不安定力の低下
- ・社会的地位の低下
- ・ありのまま力の低下
- ・コミュニケーション能力は低い状態のままであった。

■研究部アンケートの主な結果

- ・社会問題や環境問題に関する行動の増加
- ・多様性受容の若干の向上
- ・希望に関する考え方の向上
- ・孤独感の若干の低下
- ・社会的信頼の低下
- ・ゼロサム思考の向上
- ・成長思考の若干の低下
- ・抑うつ傾向の若干の向上（悪化？）
- ・自己肯定感、レジリエンス、人間関係観はほぼ変化なし

Cさん：CMCの意味

CMCで得た
学び・気づき・価値

自分自身について

他者とのこと

その他

納得感のある自己表現の実現と理解

焦ることと生じる自己否定のループが自分にとって良くないという自己理解への気づき

理性じゃなくて、感性に目を向けると暮らしが変化するという気づき

他者との関係性の中からの学び

- ・自己探求と他者コミュニケーションの難しさ
- ・感情を動かし、知らない世界を教えてくれる他者
- ・他者に受け止めてもらえた経験
- ・自分が思っているよりも周りは自分を気にしていないという気づき
- ・他者との間に安全性が重要
- ・相手を表面的に受け取らない

CMC・広田という場所が自分が生きていく上での安心感につながっている

CMCという場所で、同じ目標をずっと持ってた

次に始まる生活への不安・他者との比較

CMCの環境セット

今まで気づけなかった、自分や他人の感情の機微に気づける場所

安心・安全で、何もなくて時間があるからこそ向き合える自分と他者からの学びがある場所

もともとのマインドセット

自分だけの時間をとって、自分に向き合うことをしたい。

人との関わり方は難しい・自分との向き合い方は大変。

Cさん：CMCのストーリー

(事前)

- ・ちゃんと自分と向き合おうと思い、CMCに来た
- ・自分の中の確固たるものがなくて、自信がないな
- ・自分のことを本当に理解してくれている人はいないと感じている
- ・人との関わり方って難しい。



(事中①)

- ・シェアハウスでギクシャクすることがあった。自分も萎縮してしまった。
- ・一方で他者は自分の感情を色々と動かしてくれる存在だな。
- ・CMCという余白のある環境で、自分を見つめ直したいし、確固たるものを手に入れたいな

(事中②)

- ・やはり人との関わり方って難しい。家出するこもいて、相手の気持ちを理解するのは難しい。
- ・表面的に人のことを理解してはダメなのかもしれない。
- ・一方で、CMCは今まで感じなかった他人の感情の機微にも気づかせてくれている気がする。
- ・ちょっと焦りから、自己否定のループに入っているかもしれない。良くないな。

(事中③)

- ・自分にとって他者は難しさがあつ、自分の見えていない世界を見せてくれる存在かもな
- ・理性で物事を考えすぎかも。もっと感性にしたがって生きてみてもいいかもしれない。
- ・恥ずかしいくらい二日酔いしてしまった。でも、周りのみんなは変わらずに接してくれた。恥を晒すのも悪くないな。
- ・相変わらず広田は、幸せや安心感をくれる場所だな



(事後)

- ・人との関係性って難しいけど、安心感や焦らずやれば、もっと自分らしく居られるのかもしれない。自分が思っているよりも周りは自分のことを受け入れてくれるんだな。
- ・焦りは本当に良くない。良くない自分に落ちていってしまう。
- ・広田やCMCは自分にとって安心感や小さな幸せをくれる場所だ。
- ・次の生活が始まるからこそその不安ももちろんある

Dさん：well-beingサークル

■well-beingサークルの主な結果

- ・ありのまま力の向上
- ・人生満足度の向上
- ・職場の幸せ力の全体的な向上
- ・ありがとう力の全体的な向上
- ・なんとなくかなる力の低下
- ・ポジティブ感情や没入力は低い状態で安定
- ・big fiveはほぼ低い状態のまま
- ・社会の幸せ力は変化が少ない

■研究部アンケートの主な結果

- ・自己肯定感は全体的に向上
- ・一般信頼の向上
- ・抑うつ傾向の低下（改善？）
- ・孤独感の大幅な低下
- ・関心のある社会問題についての行動が増えたと感じている
- ・努力によって、元々備わっている賢さは大幅には向上させられないと
感じる割合の増加
- ・多様性受容の低下
- ・レジリエンスの低下
- ・ゼロサム思考の低下

Dさん：CMCの意味



- ・抑うつ傾向の改善
- ・孤独感の改善
- ・職場の幸せ力の向上

この先の人生において、真の繋がり（ポジティブなしがらみ）を作った。

- ・ありがとう力の向上

自分らしい生き方するための条件の発見
→感謝。それによって様々な物事に支えられて
自分自身が”在る”ということの自己認識ができる

他者と100%は分かり合えない事実と、それでも他者と生きる大切さや意味の発見

- ・多様性受容の減少
- ・レジリエンスの減少
- ・一般信頼の向上

自分らしい生き方への気づきと腹落ち
→「死ねないのじゃあなしに生きる」
「私はきっと、私らしくしか生きられない。
それは、心強い諦めだ。」

- ・自己肯定感の向上
- ・ありのまま力の向上
- ・人生満足度の向上
- ・なんとかなる力の低下

CMCの環境セット

・人と向き合うこと、自分と向き合うことから逃げられない環境
（広田町という小さい町、シェアハウスでの暮らし）
→小さな決意と勇気による行動を積み重ねることができる環境。

Dさん：CMCのストーリー

(事前)

- ・人とうまく生きられないからコミュニケーションとかできるようになりたい
- ・自分に自信を持って社会に貢献する生き方ができるようになりたい。
- ・自立（ある意味自分一人で力強く生きる）したい



(事中①)

- ・他者は煩わしいけど必要な存在と認識。
- 自分を写す鏡と認識。
- ・人との関わりの怖さから逃げた自分。自分に疲れ、呆れ、絶望。

(事中②)

- ・優しい他者の存在に救われる。
- ポジティブなしがらみ
- ・死ねないから生きるという生き方への気づき
 - ・CMCは幻であり、ここでの出来事はここでしか使えないのではないかという絶望感



(事後)

- ・自信を持つとか社会に貢献するとかそういう「自分らしくない生き方」との決別をし、勇気や決意を作る生き方、ただそれは死ねないから生きる上での必要なことという認識。→「自分らしく」しか生きれない、心強い諦め。
- ・CMCでの経験やつながりを積み重ねとし、この先も努力して積み重ねていく決意。他者に感謝し、頼る生き方。→「ポジティブなしがらみ」

Eさん：well-beingサークル

■well-beingサークルの主な結果

- ・ やってみよう力の全体的な向上
 - ・ 面白がり力の向上
 - ・ ありがとう力もの全体的な向上
(一方、許容力、信頼関係構築力は若干低下)
 - ・ 真面目力の大きく揺れ動き、結果的には向上
 - ・ 情緒の安定度、ありのまま力の大幅な揺らぎ
 - ・ 職場の幸せ力の揺らぎ
- ・ well-beingは5月時点で大きく向上したが、8月時点では4月よりも低下
- ・ 楽観力の大幅な低下
 - ・ 社会の幸せ力、社会的地位の低下
 - ・ ストレスは多く感じるようになっている。

■研究部アンケートの主な結果

- ・ 自己肯定感の若干の向上
 - ・ レジリエンスは若干の向上
 - ・ 抑うつ傾向の低下（改善？）
 - ・ 社会問題や環境負荷について考え、行動することの増加
-
- ・ 賢さは生まれつきの能力で、それを変えることは不可能だと感じる割合の増加
 - ・ 未来は変えることができないと思う割合の若干の増加
 - ・ 他人との関わりは意味がないと思う割合の増加
 - ・ 多様性受容、健康状態の若干の低下
 - ・ 地域移住の欲求、社会的信頼の低下
 - ・ 孤独感、ゼロサム思考の向上

Eさん：CMCの意味

(データ量が全体的に不足していた)

- ・多様性受容の若干の減少。
- ・ありがとう力の全体的な向上。
- ・レジリエンスの若干向上。
- ・他人との関わりは意味がないと思う割合の増加

他者との関わり方のアップデート中
→「分かり合える」と信じてない人とのコミュニケーション方法の模索

足元からの変化にフォーカス。

- ・未来は変えることができないと思う割合の若干の増加
- ・社会問題や環境負荷について考え、行動することの増加。

CMCの環境セット

・ただ私が私らしくあることを求められてた。
→自分とじっくり対話する時間を貰えたことで、とても大切な問いと向き合うように。
→そのヒントは日常生活に散りばめられている。

- ・孤独感の強まり
- ・抑うつ傾向の改善
- ・情緒の安定度の揺らぎ
- ・楽観力の大幅な減少

生きる意味（動機）のアップデート
→必死に生きているであろうCMC同期の存在。
→希望に溢れているわけではないが、楽しく生きたい。

自分らしい生き方の発見
→豊かに生きるのに誰かが作った正解はなく、自分を生きることが正解。だからこそ、shouldだけでなくwantを大切に。他者と自分を分けて捉えるようになった。

- ・自己肯定感は若干向上した。
- ・well-beingの大幅な揺らぎ
- ・ありのまま力の大幅な揺らぎ
- ・面白がり力の向上
- ・賢さは生まれつきの能力で、それを变えることは不可能だと感じる割合の増加。



Eさん：CMCのストーリー

(事前)

- ・成長したい
- ・豊かに生きることは、「好きなことをしたいときにできる」こと。



(事中①)

- ・「ブックカフェ」などのやりたいことを通した学び。
- 「自分自身で存在すること」の大切さの痛感。
- ・「私らしくいること」を求められたことへの戸惑い。
- 自分自身と向き合う中で、足元からの変化、自分の生き方から社会に影響を与えていくということへの思考のシフト。

(事中②)

- ・草刈りや魚を捌くことなどを通して、小さな「生と死」に触れる機会が多く、「豊かさ」の概念が変わった。
 - ・メンバーとの喧嘩。
- 泣いて怒って。その結果、「分かり合えないと思っている人」を受け入れ、その人とのコミュニケーション方法を模索するように。
- ・シェアハウスでの日々。その暮らしがたくさんの学びを提供した。



(事後)

- ・豊かに生きるのに誰かが作った正解はなく、自分を生きることが正解。だからこそ、shouldだけでなくwantを大切に。他者と自分を分けて捉える。
 - ・生きる支えのアップデート。
- 「広田町と、そこに住むみんなと、CMC 6期の4人だな。世界にその3つがあれば、とりあえず私は死なないことはわかった。」

参考) ライフストーリー分析

- ・ 人生の物語 (Life Story, narrative of life) 研究
 - ◇ 日常生活で人々がライフ (人生、生活、生) を生きていく過程、その経験プロセスを物語る行為と、語られた物語についての研究。両者を含めてライフストーリー研究。
- ・ 仮説検証よりも、仮説 (理論・モデル) 生成的アプローチに置いてより威力を発揮する
- ・ 語りが語りを呼び、循環的に共同生成されるところに重要な意義がある
- ・ 手法としては、インタビューを行い、文字起こし、解釈、意味化を行う。
(参考図書: 人生を物語る-生成のライフストーリー- やまだようこ著 ミネルヴァ書房)

参考) 入学前・卒業後アンケートの質問項目



CMC独自	■CMC独自
	あなたが普段生活している際に、社会問題をどのくらい意識していますか
	あなたは関心のある社会問題についてどのように考えていますか
	あなたは関心のある社会問題に対して具体的にどれくらい行動していますか
	あなたが普段生活している際に、環境問題や環境負荷についてどれくらい考えていますか
	あなたは環境問題や環境負荷についてどのように考えていますか
	あなたは環境問題や環境負荷についてどれくらい行動していますか
	あなたは地域（限界集落などの田舎）移住し生活したいと思いますか
	■自己肯定感
	私は自分がだめな人間だと思う
	私は、たいていの人がやれる程度には物事ができると思う
	私は、全体的に自分にだいたい満足している
	私は自分のことが好きになれない
	■多様性受容
	私は、自分と他人との違いを受け入れるの苦手だ
	メンバー間で不和が起きても仲を取り持て物事を進めていくことができる
	■レジリエンス
	人生で起こるいろいろな問題には、取り組む意味があると思う
	私は困難にめげない方だと思う
	日常生活で起こる問題のほとんどは、自分なりに解決することができると思う
	私はつらい出来事があると、立ち直るのには長くかかる

参考) 入学前・卒業後アンケートの質問項目



■社会的信頼

一般的に言って、たいていの人、多くの場合、他の人の役に立とうと思う

一般的に言って、たいていの人、信頼できると思う

一般的に言って、たいていの人、信頼できず、常に用心した方がいいと思う

■ゼロサム思考

社会が豊かになるためには協力が必要だと思う

私たちの社会から負け組をなくすことは不可能だと思う

私たちの社会における成功は、他者の失敗という犠牲があってはじめて可能になると思う

社会が豊かになるためには競争が必要だと思う

■成長思考

どのような人間かという基本的特性はすでに決まっており、それを根本的に変える方法はあまりないと思う

どのような人間かという基本的特性は変えようと思えば変えることができると思う

賢さというのは生まれつきの能力で、それを変えることはほとんど不可能だと思う

努力によって、もともと備わっている賢さを大幅に向上させられると思う

■希望に関する質問

私たちの未来は私たち自身の努力によって変えられると思う

どんなに努力しても私たちの未来を変えることはできないと思う

■人間関係観

他人との関わりは意味がないと思う

参考) 入学前・卒業後アンケートの質問項目



■抑うつ傾向

何をするのも面倒と感じた

「毎日が楽しい」と感じた

悲しいと感じた

何か恐ろしい気持ちがした

物事に集中できないと感じた

憂うつだと感じた

■孤独に関する質問

自分は世の中から目を向けられていないと感じた

自分には頼れる人が誰もいないと感じた

自分のことを本当によく知っている人は誰もいないと感じた

自分のことを本当に理解している人がいると感じた

自分はひとりぼっちだと感じた

■健康に関する質問

現在、あなたの健康状態はいかがですか